

IC-7000
移動運用

コンパクト・オールバンド機で楽しむ移動運用

ファミリーには大自然を 貴方にはベスト・ロケーションを!

IC-7000 field use

高性能トランシーバを使っても、しっかりしたアンテナとロケーションに恵まれないならば楽しめないのがHFのQSOだ。せつかく入手したIC-7000も、ビルの谷間のシャックから数mのアンテナでは宝の持ち腐れだし、ストレスも溜まる一方だ。かといって満足できるアンテナを建てられて、ノイズ環境の良い場所に引っ越すことのできる人は、少ないだろう。モバイル運用で楽しむという手もあるが、道交法の関係で最大3.6mのアンテナではローバンドでは苦しいし、パイルアップには勝てないというのが本音だ。そこで、ノイズ環境とロケーションが良い場所へ出かけて行き、腰を据えて運用しようという仲間が増えつつある。

写真上 キャンプ・サイトにも夜のとばりが落ちはじめ、街の灯と、夕暮れの空に金星が見事に輝きだした。昼間の交信で火照った頬に、ひんやりした夜風が心地よい。さあ、かがやくランタンときらめく街の明かりを眺めながら、あとひとがんばり。寝るまでにもう1ページ、ログを埋めてしまおう

写真下 オート・チューナがあれば、帯域の狭いコンパクトなアンテナでも気にすることなくQRVできる。アウトドアですぐすがしい昼食の後は、昨晚のログに新たな1ページを加える交信をはじめよう



時間と環境を楽しもう

ゆっくり時間がとれる季節に恵まれたバケーションには、キャンプを張ったりログを借り、ローバンドのフルサイズ・ワイヤーやHFビーム・アンテナを仮設し、本格的にアマチュア無線を楽しんでみよう。最近は商用電源のサービスが受けられるキャンプ場もあるし、発電機という手もある。ただし、キャンプ場での発電機使用は他のキャンパーへの配慮が必要だし、禁止されている場合もあるから、下調べは必要だ。ログならほとんどが100Vを使えるはずで、アンテナさえ建てれば市街地のノイズから隔離された理想的な環境を手に入れられる。

夏休みなら、家族そろってアウトドアを楽しむのもよいだろう。最近はレトル

トなど保存食品のバリエーションが豊富だから、朝はパンとコーヒーそれにソーセージ、お昼はカレーやハヤシライス。これなら簡単だから奥方にも負担を掛けない。夕食はバーベキュー。たまにはお父さんの焼いたステーキを家族にサービスするのも悪くない。

日中は子供達と釣りをしたり、ハイキングに行ったり、夕方から夜間、明け方はHFへQRV。これならローバンドからハイバンドまで楽しむことができる。

夜ランタンに照らされたキャンプサイトで、HFを受信しながら、電離層と太陽の話の子供達にしてやるのもよいし、星空を見ながらEMEやISSの話に花を咲かせてもよいだろう。

子供達が寝静まったら、周りに音が漏

見本